



ビオトープ・ニュース085

発行日 2016/01/31

発行：日本ビオトープ管理士会 徳島支部
 事務局：徳島市山城町東傍示 5-281 新弘測量設計株式会社
 事務局長：東條芳顕 TEL：088-622-5688

■ビオトープ・サロン 生物多様性保全 ～ビオトープ管理士のいざない～

新年あけましておめでとうございます。新春第1号です。平成27年度ビオトープ管理士資格試験の合格発表があり、徳島で新たに6名のビオトープ管理士が誕生しました。今後、益々のご活躍を期待します。

ビオトープ管理士は、公益財団法人日本生態系協会が創設し、1997年から試験を毎年1回実施、昨年で18回目となりました。当時は1992年の地球サミットを契機に、環境の世紀に向けて環境教育や様々な環境関連事業が展開され、関心も高かった記憶があります。現在は、環境教育などの啓発の時期を過ぎ実行の時を迎え、今こそ本番の時はです。しかしながら、関連事業や活動も低調な感があり、地方ではそれが顕著なようです。また、目的と手段の取り違えや歪曲した取組も少なくありません。管理士資格試験徳島会場の受験者数も、近年は半減しています。

そこで、今号は原点に立ち返り、ビオトープ管理士創設の背景や資格試験について紹介し、環境世紀の先導者として多くの方々に、ビオトープ管理士を目指して頂ければと思います。また、管理士の皆様には、生態系保全に関心のある方々に声をかけていただき、環境の世紀に必要な教養として「ビオトープ管理士資格試験の受験」をお勧めいただき、環境問題の本質にある生態系保全と持続可能社会の形成に向けた同士の拡大をお願いいたします。（編集局）

【技術者資格要件から21世紀の暮らしに必要な不可欠な教養へ】

1. ビオトープとは

ビオトープとは、ビオトープの基礎知識（ヨーゼフ・ブラープ：ドイツ連邦共和国自然保護局・景域生態学研究所所長）によると、「有機的に結びついた生物群集すなわち生物社会の生息空間。最低限の面積を持ち、周辺空間から明確に区分できるまとまりを示しているもの。」と定義づけられています。

このビオトープを国土づくりに生かしているドイツの考え方をいち早く日本で紹介したのが（公財）日本生態系協会です。

ランドスケープ（景域）計画の分野では「生物の生息・生育に必要な最低限の規模を有し周辺と区分できる均質な空間」として、土地を生態的に評価する空間単位として用いられています。

とくしまビオトープ・プラン（平成14年徳島県）では、「地域本来の野生生物が住み続けられる場所」と定義づけられています。

いずれも、人類生存基盤である自然の仕組みが成立する土地を指し、それぞれが固有の系を成し、ビオトープ・ネットワーク（生態系ネットワーク）としてつながっています。



2. 生物の生息空間と人間の生活空間

野生生物の生息空間（ビオトープ）の研究は一定の研究が進んでいますが、人間をどのような空間（環境）で育てればよいかとなると、容易ではありません。しかし、【文部科学省生涯学習審議会（1999年）報告】によると「自然体験が豊かな子どもほど道徳観や正義感が強い。」という報告や、脳の発達の研究でわかってきた自然の遊びの効果として「豊かな感性を育む」「命の大切さを知る」「自己制御力が身につく」「道徳観・正義感が身につく」「探究心を育む」「将来への展望を持つ」など、自然の中での遊びが子供を育てることがわかってきました。また、「きれやすい」「衝動的」「落ち着かない」などの大脳前頭葉の我慢中枢の未発達は、夢中になる遊びの減少や思いっきり体を動かすなどの実体験不足とされています。また、ドイツの哲学者ボルン博士は「人間はこの根源的な生命（植物）の関わりから離れることもありますが、そのとき人間は、自然から隔絶した都会生活の形態の中で硬直してしまうのです。中略、都市に住む人間の仕事の進め方は自然のリズムに結び付けられておらず、ゆえに、庭を持つということは人間の心の健康にとって大きな意義を持つ」と述べています。

これらのことから、日常的な生活空間には身近な自然が必要であり、換言すれば、人間にも【ヒトのビオトープ】が必要ということができないのでしょうか？

3. ビオトープ管理士資格（資質）とは

ビオトープ管理士の資格要件は、生きものや法制度に関する知識から、技術、倫理観、評価力や応用力まで幅広い観点で総合的に認証し、現場の感覚を取り入れた実践的な内容となっています。出題範囲が広いため、基礎知識とはいえ、少々難しいという声もありますが、生態系という連鎖の様々な要素を総合的に評価し適切に判断し実践できる人材開発・育成を目的にしているためです。ビオトープの正しい理解は、専門技術者に限らず、生物多様性保全が求められる今日においては、日常生活においても必要な知識で、身近な自然の理解につながり心を豊かにしてくれます。

4. ビオトープ管理士への誘い

資格試験は、毎年6月上旬～8月中旬に受験申込受付が始まり、9月末又は10月初頭の日曜日に実施されます。試験会場は、徳島会場（徳島大学工学部）が設けられており、お手軽に受験できます。ただし、2級に限られますが、徳島会場が運営されているこの機会を逃すことなく、ぜひ、チャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

最後に、公益財団法人日本生態系協会の創設者であり、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会会長でもある池谷会長の言葉を紹介します。

あなたもビオトープ管理士となり、人と自然が共存する美しいまちづくり・くにづくりを目指しませんか。100年後の日本の姿を思い描いてみてください。一人ひとりが正しい知識を身につけ、現場や生活で実践すれば、それは必ず実現します。（出典：ビオトープ管理士資格試験公式テキスト／2010年10月：日本生態系協会会長池谷泰文）

■ビオトープ・サロン マスメディアからの話題 ～米当局がリスク認める～

本紙 058 (ネオニコチノイド) と 059 (IGR : 昆虫成長制御剤) でも取り上げましたが、2.5 ヶ月を経て農薬のリスクを認める結果となったようです。安心・安全は「予防原則」と「多面的視点」が必要不可欠ですね。(編集局)

【「ハチ消失」農薬が影響 (ワシントン共同/徳島新聞 2016.01.16)】



花で餌を探すミツバチ (米サイエンス誌提供)

ネオニコチノイド系農薬 タバコに含まれるニコチンに似た物質を主要成分とする農薬の総称で、1990年代から殺虫剤などさまざまな用途で使われている。神経の働きを阻害して昆虫を殺す。各国で多発するミツバチの大量死や消滅との関連が指摘され、欧州連合 (EU) の欧州委員会は2013年、クロチアニジン、イミダクロプリド、チアメトキサム の3種類の農薬を当面使用禁止にすると決めた。

紙面から転載すると、「米環境保護局 (EPA) は16日までに、国内外で広く使われているネオニコチノイド系の農薬の一つ [イミダクロプリド] を柑橘類や綿花に使用すると、ミツバチの群れに害を及ぼす可能性があるとするリスク評価の素案をまとめた。米国ではミツバチなどの群れが突然なくなる現象が多発。ネオニコチノイド系農薬が原因の一つとして疑われていたが、当局が初めて一部の作物で関連を認めた形だ。素案によると、散布されたイミダクロプリドは、葉や土壌を通じて作物の花や花粉に蓄積し、ミツバチがそれを食べたり、体に付着させたりすることで体内に取り込む。蓄積量によっては、1匹だけでなく群れ全体に影響が出てくる可能性があるという。蓄積量は作物毎に異なるが、通常の使用方法で農薬を使用した場合、柑橘類や綿花には、群れにまで影響を及ぼすような高い濃度で蓄積する恐れがあるとした。一方でイモ類や葉野菜は蓄積量が少ないためリスクが低いとした。データ不足で評価できない作物も多かった。EPAは素案に対する一般からの意見を聞いた上で最終決定し、政策に生かしたいとしている。」とのこと。

今回の話題は、人間には無毒で安心安全な農薬として普及しているものが 害虫以外の昆虫にも致命的な被害が及び、ひいては自然生態系にも影響が及ぶということが 科学的に解明されたというものです。農薬は研究が進み、人間の健康被害や魚毒性が低く、特定害虫に限定的な効果があるものなど、多種多様なものが開発されています。関心のある方は、本紙 058 と 059 をご参照ください。

虫も食わない野菜や果物を選ぶか、少々虫食い痕がある方が安心・安全で美味しいと選ぶか、野菜工場で完全管理されたものを選ぶか、どんな未来にしたいですか、あなたは？

■ビオトープ・セミナー 資格試験に挑戦して基礎知識を修得しよう！

ビオトープ管理士資格試験過去問題 出展：(財)日本生態系協会主催「ビオトープ管理士セミナー」のテキストより **無断転載禁止**：本紙は公益財団法人日本生態系協会の許可を得て転載しています。(編集局)

【ビオトープ論の択一問題：正答と解説は次号で紹介】

問 085：ビオトープの定義について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。

1. ビオトープとは、ある生物群集を代表する生物の分布エリアをいう。
2. 農産物の生産を第一目的としている水田や畑は、ビオトープとはいえない。
3. 確認できる生物種の数が多い岩礁域、ビオトープとはいえない。
4. 人に有毒な火山ガスが噴出している火山の火口付近は、ビオトープとはいえない。
5. 残存する貴重な自然環境だけでなく、多様な生物が再び生息できるように再生された自然環境も、ビオトープといえる。

■前号 084 (生態学の択一問題) の解説

日本は多くの島から構成されています。生物の分布を調べると、海峡の影響、島のそもそもの成り立ちなどから、生物相が島によってかなり異なっています。

例えば、①氷河期に海水面が低下したために、大陸から多くの生物が日本に移動してきました。②これまで大陸とつながったことのない小笠原諸島には固有種が多く、哺乳類はオオガワラオオコウモリのみが生息しています。③植物や昆虫の中には、島から島へと海流によって分布を拡大しているものがあります。④琉球列島の中でも、現在、ハブが生息していない島がありますが、これは琉球列島と大陸が陸続きであった頃、この地域にハブ類の祖先が侵入し、その後の気候の温暖化や地殻変動によって琉球列島の大部分が海面下に没した際に、標高が高く海面上に残った島にだけ生き延びることができたためと考えられています。また、大東諸島のような沖縄から遠く離れた隆起珊瑚礁の島にはハブ類は最初から侵入することができなかったというのが定説となっています。

2級はどなたでも受験でき、四国の受験会場は「徳島大学工学部」です。自然環境の保全に関わる方には、是非とも取得していただきたい資格です。詳しくは、<http://www.ecosys.or.jp/> (公益財団法人 日本生態系協会HP)

■編集後記

ビオトープに関するお役立ち情報のもとより、皆様の生活や活動やお仕事等、日常を通じて見たり感じたりしたこと、身近な自然の春夏秋冬や喜怒哀楽のご寄稿をお待ちしております。ふるってご参加ください！ 編集局
【E-mail : kanv@nifty.com URL : <http://biotopetokushima.yu-yake.com>】